SONY®

2-895-766-**04** (1)

# *Bluetooth®*
# *オーディオトランスミッター*

## 取扱説明書

**お買い上げいただきありがとうございます。**

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WALKMAN®

Bluetooth®

# *WLA-NWB1*

# ⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

## 定期的に点検する

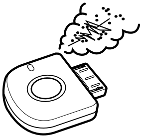
1年に一度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店、またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

**変な音・においがしたら、煙が出たら**



1. **電源を切る。**
2. **接続している機器をとりはずす。**
3. **ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する。**

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**⚠危険**

この表示の注意事項を守らないと、火災などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

**⚠警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**⚠注意**

この表示の注意事項を守らないと、事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号


注意


火災

### 行為を禁止する記号


禁止


分解禁止

### 行為を指示する記号


指示

# 目次

⚠危険　火災

**下記の注意事項を守らないと火災・発熱・発火により死亡や大けがの原因となります。**

## 火の中に入れない

禁止

## 分解しない

故障の原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。



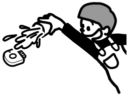
分解禁止

## 火のそばや炎天下などへ放置しない

禁止

## 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、接続している機器をはずして、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

## 本機を航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

## 本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

禁止

## 本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

注意

## 本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

## 本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

指示

# Bluetooth機器について

### 機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

### 周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

**本機の使用上の注意事項**

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、お客様相談センターまでお問い合わせください。お客様相談センターについては、本取扱説明書をご覧ください。

2.4FH1

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

# こんなことができます

本機は、Bluetooth® 技術を使用したオーディオトランスミッターです。WM-PORT*1（22ピン）搭載のウォークマンに接続してBluetooth対応受信機（ヘッドセット、カーステレオ、スピーカー、ステレオミニコンポなど）*2にオーディオ信号を電波で伝送することでワイヤレスで音楽を楽しむことができます。

*1 WM-PORTは、ウォークマンとアクセサリーを接続する専用マルチ端子です。

*2 Bluetooth受信機が、A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）に対応している必要があります。

本機の特長は以下のとおりです。

- Bluetoothワイヤレステクノロジーを利用し、オーディオ信号をワイヤレスで伝送
- WM-PORT（22ピン）搭載のウォークマンに対応
- AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）に対応
  - Bluetoothヘッドセット*3などからウォークマンの基本操作が可能
  - ウォークマンのVOL(+/-)操作でBluetoothスピーカー *4などのボリューム操作が可能

  *3 AVRCPに対応している必要があります。

  *4 AVRCP(Vol +/-)に対応している必要があります。
- ウォークマン本体からの電力供給により電源不要




**ヒント**

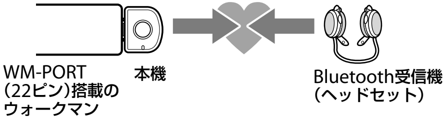
Bluetooth技術について詳しくは、17ページをご覧ください。
また、本機と接続できる機器について詳しくは、下記をご覧ください。
http://www.sony.co.jp/support-pa/

# Bluetooth機器 基本操作の流れ

ここでは本機に接続したウォークマンで再生する音楽を、Bluetooth受信機（ヘッドセット）で受信して聞く場合を例として説明します。

### ペアリングする

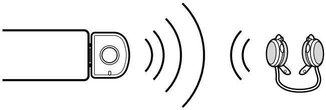
Bluetooth受信機と本機を接続相手として登録します。
一度ペアリングすれば、次回からペアリングする必要はありません。




詳しくは11ページをご覧ください。

### Bluetooth接続する

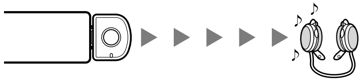
Bluetooth受信機の電源を入れてからウォークマンで再生を開始するとBluetooth接続されます。



詳しくは14ページをご覧ください。

### 音楽を聞く

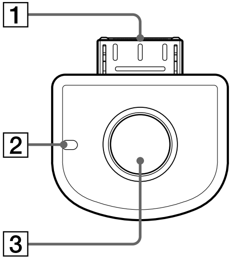
本機に接続したウォークマンで再生した音楽を、Bluetooth受信機で楽しめます。



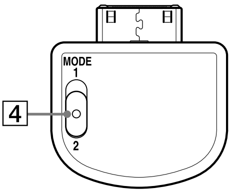
詳しくは14ページをご覧ください。

# 各部の名前とはたらき

**表面**




**裏面**




### 1 WM-PORT[ダブリューエムポート]（22ピン）

ウォークマンのWM-PORTにつなぎます（10ページ）。

### 2 ランプ

本機の通信状態を表示します（13ページ）。

### 3 電源ボタン

以下の操作を行うときに使います。

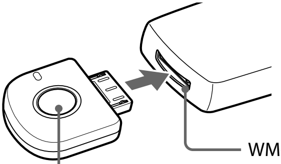
- 本機の電源の入/切をする（10ページ）
- ペアリングする（11ページ）
- 本機を初期化する（21ページ）

### 4 MODE[モード]スイッチ

通信モードを切り換えます。
1または2にスライドして切り換えます（15ページ）。

# ウォークマンと接続する

本機をウォークマンのWM-PORTにしっかりと接続してください。




### 本機の電源を入れるには

本機をウォークマンに接続すると本機の電源が自動的に入ります。ウォークマンに接続している状態で本機の電源が切れている場合、本機の電源ボタンを約2秒間押し続けると、電源が入ります。
本機の電源が入ると、ランプが2回点滅します。

### 本機の電源を切るには

本機の電源ボタンを約2秒間押し続けると、ランプが1回点滅して、本機の電源が切れます。

### ヒント

連続通信時間や連続待ち受け時間はお使いのウォークマンによって異なります。
詳しくは、http://www.sony.co.jp/support-pa/ をご覧ください。

### ご注意

- ウォークマンのヘッドホンジャックから音声を聞くときは、本機をウォークマンから取りはずしてください。
- 本機の電源が入っているとウォークマンの電池電力を消費します。Bluetooth機能を使わないときは、本機の電源を切ることをお勧めします。
- ウォークマンが再生中のときに本機の電源を切ると、再生が止まります。
- 本機は充電の必要がなく、接続したウォークマンから電力の供給を受け動作します。ウォークマンの電池残量を確認してご利用になることをおすすめします。
- ご使用のウォークマンの機種により、本機をウォークマンに接続しているときにはヘッドホンを接続できないことがあります。

# ペアリングする

## ペアリングとは

Bluetooth機器では、あらかじめ、ワイヤレス接続する機器同士を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。
一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき。
- 9台以上の受信機をペアリングしたとき。
  本機はBluetooth受信機を合計8台までペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で最後に接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 本機を初期化したとき。
  すべてのペアリング情報が削除されます（21ページ）。

## ペアリングの手順

**1** 本機とウォークマンを接続する(10ページ)。
本機の電源が入ります。

**2** 本機の電源ボタンを約2秒間押し続けて電源を切る。

**3** ペアリングするBluetooth受信機と本機を1m以内に置く。

**4** Bluetooth受信機をペアリング処理状態にする。
（Bluetooth受信機の取扱説明書をご覧ください。）

**ご注意**

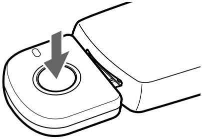
本機のパスコード* は「0000」に固定されています。お使いのBluetooth受信機にはパスコードの入力を求めるものがあります。その場合は、「0000」と入力してください。パスコードが「0000」でないBluetooth受信機とペアリングすることはできません。

* パスコードは、パスキー、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

次のページにつづく

## 5 本機の電源ボタンを約7秒間以上押し続けてペアリング処理状態にする。

約2秒後にランプが2回点滅しますが、ボタンを離さないでください。



本機のランプが速く点滅し始めたらボタンを離してください。本機がペアリング処理状態になります。
本機のランプが以下のように変わり、Bluetooth受信機とペアリングされます。

ランプが速く点滅：ペアリング処理中

↓

ランプがBluetooth受信機に応答して点滅（ペアリング成功）

↓

ランプが点滅（約5秒間隔）：接続待ち

**ご注意**

- 本機のペアリング処理状態は、約5分で解除されます。約5分以内にペアリングが完了しなかった場合は、もう一度手順**4**から操作を行ってください。
- ペアリング処理状態にするには、最初に本機の電源を切ってください。

**ペアリングが完了しないときは**

もう一度手順**2**から行ってください。

**ペアリングを途中で止めるには**

電源ボタンを約2秒間押し続けて、本機の電源を切ってください。

**ヒント**

複数のBluetooth機器とペアリングするには、ペアリングしたい機器ごとに手順**2**～**5**を繰り返してください。

**ご注意**

Bluetooth受信機によっては、接続待ち状態に自動的にならないものがあります。その場合は、お使いになる機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

# 本機のランプ表示について

| 状態 | ランプ |
| --- | --- |
| 電源入 | 2回点滅 |
| 電源切 | 1回点滅 |
| ペアリング処理中 | 速く点滅 |
| ペアリング成功 | 2回点滅 |
| 接続処理中 | 点滅（約1秒間隔） |
| 接続成功 | 2回点滅 |
| 接続中 | ゆっくり点滅（約5秒間隔） |
| 接続待ち | 点滅（約5秒間隔） |

# Bluetooth接続する・再生する

本機にウォークマンを接続して、ウォークマンで再生した音楽を、Bluetooth受信機（ヘッドセットなど）で聞くことができます。

**操作を始める前に、本機とBluetooth受信機のペアリングを完了させてください（11ページ）。**

## 1 Bluetooth受信機を Bluetooth接続待ちの状態にする。

（Bluetooth受信機の取扱説明書をご覧ください。）

## 2 本機をウォークマンに接続し、ウォークマンの電源を入れる。

本機のランプが以下のように変わり、本機とBluetooth受信機がBluetooth接続されます。

ランプが2回点滅：電源が入る
↓
ランプが点滅（約1秒間隔）：接続処理中
↓
ランプが2回点滅：接続成功時
↓
ランプがゆっくり点滅（約5秒間隔）：接続中

ウォークマンと接続してから約5分以内にBluetooth接続できなかった場合は、自動的に本機の電源が切れます。本機の電源が切れてしまった場合は、本機の電源ボタンを約2秒間押し続けて再度電源を入れてください。

**ご注意**

最近接続した2つの機器以前にペアリング済みの機器と接続する場合は、本機の電源を入れ、ランプがゆっくりと10回点滅してから13回目までの間（点滅開始後約10 ～ 13秒の間）に、相手のBluetooth機器から接続操作を行ってください。
それでもBluetooth接続できない場合は、もう一度ペアリングを行ってください。

## 3 本機に接続したウォークマンで音楽の再生を始める。

Bluetooth受信機でウォークマンの音楽が再生されます。

### ヒント

音量は、Bluetooth受信機で調整できます。

**ご注意**

- お使いのウォークマンによっては、ウォークマンが再生待機状態のときには、再生ボタンを押し続けないと再生が始まらない場合があります。
- ウォークマンで音量の調整をしても、Bluetooth受信機から出力される音声には影響しません。ただし、AVRCP(VOL ±)に対応したBluetooth受信機の場合は、受信機の音量調整が可能です（詳しくは16ページをご覧ください）。
- 本機をウォークマンに接続してBluetooth接続しているときは、ウォークマンで設定したAVLS（Automatic Volume Limiter System）は無効になり、ビープ音も出ません。
- 本機とBluetooth受信機の距離が離れてBluetooth接続が切れた場合は、もう一度手順**1**から操作してください。ただし、約10分以内に接続可能な距離に戻ると、自動的に接続し直します。
- FMチューナー搭載のウォークマンで受信したFM放送をBluetooth受信機で聞くときは、必ずヘッドホンをウォークマンに接続してください。ヘッドホンコードがアンテナとして働くため、接続していないと放送が受信できません。
- ウォークマン内の楽曲の音声レベルが大きいと、Bluetooth受信機から出力される音声は、「Equalizer」などの音質効果が小さくなくなります。
- Bluetooth接続を使った再生では、ご使用方法や場所により、雑音が入ったり、音が途切れたり、再生速度が変わったりすることがあります（詳しくは17ページをご覧ください）。

**MODEスイッチについて**

音質とワイヤレス通信の安定のどちらを優先するか選べます。
モード1：音質を優先する。
モード2：ワイヤレス通信の安定を優先。

**ご注意**

- モード1に設定したときに、音とびなどが発生した場合はモード2に切り換えてください。
- お使いのBluetooth受信機によっては、モード1/2に切り換えるとき、音が途切れることがあります。

# リモコン操作する

### AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）に対応した機器にBluetooth接続すると

Bluetoothヘッドセットの操作ボタンでウォークマンの操作をしたり、ウォークマンの操作ボタンでBluetoothスピーカーのボリュームを操作したりできます。詳しくは、接続するBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

**リモコン操作を始める前に、「Bluetooth接続する・再生する」の手順1と2が完了していることをご確認ください（14ページ）。**

**Bluetooth受信機からウォークマンをリモコン操作する**




**ヒント**

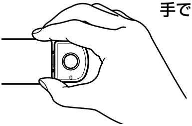
ウォークマンの再生を停止すると本機は接続待ち状態になります。接続待ち状態のときは、Bluetooth受信機を操作してウォークマンの電源を入れることができます。

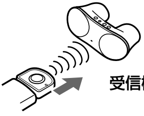
**ウォークマンからBluetooth受信機をリモコン操作する**




**ご注意**

- ウォークマンの状態によりリモコン操作ができないことがあります。
- ウォークマンで音量調整をしても、ヘッドセットなどのBluetooth受信機の音量は変わりません。
- ウォークマンの操作をするときは、本機を手でおおい隠したりしないでください。
- ウォークマンからBluetooth受信機をリモコン操作するときは、本機をBluetooth受信機へ向けてください。
- お使いのBluetooth受信機によっては、ウォークマンからのリモコン操作による音量調整ができないことがあります。



# Bluetooth技術について

Bluetooth無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。約10 m程度までの距離で通信を行うことができます。
無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。
Bluetooth規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

### Bluetooth機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth製品の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記のBluetoothバージョンとプロファイルに対応しています。

**対応Bluetoothバージョン：**
Bluetooth標準規格Ver. 2.0準拠
**対応Bluetoothプロファイル：**
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）

# 使用上のご注意

### Bluetooth通信について

- Bluetooth無線技術では約10 m程度までの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって通信有効範囲は変動します。




- Bluetooth通信は以下の状況において、雑音が入ったり、音が途切れたり、再生速度が変わったりすることがあります。
  - 金属製のかばんの中で使う場合
  - リュックなど背中に背負うかばんや肩にかけるかばんに入れて使う場合
  - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

次のページにつづく

- 本機とBluetooth機器をできるだけ近づける。
- 約10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

- Bluetooth無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、Bluetooth受信機側での再生がわずかに遅れます。
- Bluetooth技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
  - 接続するBluetooth機能対応機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  - 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

### 取り扱いについて

- 本機を落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 本機を分解したり、開けたりしないでください。

### 設置について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所
- ほこりの多い所
- ぐらついた台の上や傾いた所
- 振動の多い所
- 風呂場など、湿気の多い所
- 車内など直射日光の当たる場所

### 車内で使用する場合のご注意

本機、オーディオ出力機器やカーラジオの接続作業および機器操作は、運転中や停車中ではなく安全な場所に駐車してから行ってください。

### お手入れについて

- 汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

### その他のご注意

他に疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

# 故障かな？と思ったら

本機を操作していてトラブルが発生したら、サービス窓口にご相談になる前に本機をウォークマンから取りはずし、しばらくしてから接続してください(リセット)。また、ウォークマンとBluetooth受信機の電源を切り、再度入れ直してください(操作方法はそれぞれの取扱説明書をご覧ください)。それから、「故障かな？と思ったら」の各項目で調べてください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

| 症状 | 原因と対応のしかた |
|---|---|
| 電源が入らない（入ってもすぐ切れる） | → 本機の電源ボタンを約2秒間押し続ける。<br>→ ウォークマンの電池残量を確認してください。残量が無い場合、ウォークマンを充電してください。 |
| 音が出ない | → 本機とウォークマンが正しく接続されているか確認する。<br>→ 本機とBluetooth受信機の電源が入っているか確認する。<br>→ 本機とBluetooth受信機の距離が離れすぎていないか、無線LANや他の2.4 GHz無線機器や電子レンジなどの影響を受けていないか確認する。<br>→ 本機とBluetooth受信機を再度ペアリングする。 |
| 音が小さい | → Bluetooth受信機の音量を、音がひずまない範囲でできる限り大きくする。音量の調節については、Bluetooth受信機に付属の取扱説明書をご覧ください。 |
| 音量が変わらない | → Bluetooth受信機の音量を調節してください。 |
| 音がひずむ | → Bluetooth受信機の音量を音がひずまなくなるまで下げる。音量の調節については、Bluetooth受信機に付属の取扱説明書をご覧ください。 |
| 音が途切れたり、雑音が入ったり、再生速度が変わったりする | → MODEスイッチをモード2に切り換える。<br>→ 無線LANや他のBluetooth機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れてご使用ください。<br>→ 本機とBluetooth機器との間に障害物がある場合は、障害物を避けるか取り除いてください。<br>→ 本機とBluetooth機器をできるだけ近づける。<br>→ 本機の位置や向きを変える。<br>→ 接続相手のBluetooth機器の位置や向きを変える。 |

次のページにつづく

| 症状 | 原因と対応のしかた |
|---|---|
| ペアリングできない | ➔ 本機とBluetooth機器をできるだけ近づける。<br>➔ 正しいパスコードが入力されているか確認してください(11ページ)。 |
| ペアリングした機器や以前接続できた機器に接続できない | ➔ 本機は最近接続した2つの機器へ接続を試みます。<br>最近接続した2つの機器以前にペアリング済みの機器と接続する場合は、本機の電源を入れ、ランプがゆっくりと10回点滅してから13回目までの間(点滅開始後約10 ～ 13秒の間)に、相手のBluetooth機器から接続操作を行ってください。<br>それでもBluetooth接続できない場合は、もう一度ペアリングしてください。<br>➔ ペアリング情報が削除された。もう一度ペアリングしてください。 |

# 本機を初期化する

本機を工場出荷時の設定に戻し、すべてのペアリング情報を削除します。

**1** **電源ボタンを押しながらウォークマンに接続する。**

**2** **そのまま電源ボタンを約15秒以上押し続ける。**
ランプが4回点滅し、本機が工場出荷設定に戻ります。すべてのペアリング情報が削除されます。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

### それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社ではBluetoothオーディオトランスミッターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

# 主な仕様

## 概要

**通信方式**
Bluetooth標準規格Ver. 2.0

**出力**
Bluetooth標準規格Power Class 2

**最大通信距離**
見通し距離約10 m[*1]

**使用周波数帯域**
2.4 GHz 帯
（2.4000 GHz – 2.4835 GHz）

**変調方式**
FHSS

**対応Bluetoothプロファイル**[*2]
A2DP
（Advanced Audio Distribution Profile）
AVRCP
（Audio/Video Remote Control Profile）

**対応コーデック**[*3]
SBC[*4]

**入出力端子**
WM-PORT（22ピン）

**動作温度**
5～35℃

**最大外形寸法**
約 28.1 × 29.1 × 7.8 mm
（幅／高さ／奥行き）（突起物を含む）

**質量**
約5 g

*1 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

*2 Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth製品の特性ごとに機能を標準化したものです。

*3 音声圧縮変換方式のこと

*4 Subband Codecの略

## 付属品

取扱説明書（1）
保証書（1）

“ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ（ http://www.sony.co.jp/support-pa/）**
  最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX番号）**
  本機の商品カテゴリーは、[ウォークマン] – [ウォークマンAシリーズ、Eシリーズ、Sシリーズ]です。
  お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  – 型名：WLA-NWB1
  – ご相談内容：できるだけ詳しく
  – お買い上げ年月日

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

**使い方相談窓口**
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ 0466-31-2511

**修理相談窓口**
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「301」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

**FAX（共通）**0120-333-389 **受付時間** 月～金:9:00～20:00 土･日･祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in China